

目でみる 眼のはなし ⑥

監修：信州大学 眼科学 教授 吉村 長久

感染性結膜炎とは？



Q 目が充血して異物感があり、目やにも出ていますが…？

A 結膜炎が考えられます。

結膜は、黒目（角膜）のふちからまぶたの裏側をおおう薄い粘膜です。

結膜炎はその粘膜に炎症が起きる病気で、原因によって「アレルギー性結膜疾患」と「感染性結膜炎」の2つに分けられます。

「アレルギー性結膜疾患」の場合はかゆみが強いのが特徴で、結膜分泌物検査により白血球（好酸球）を確認することで診断を下します。

「感染性結膜炎」の場合は病原体により症状や感染力が異なるため、病原体を分離したり培養したりして確定することで診断を下します。



感染性結膜炎の主な分類

感染性結膜炎

細菌性結膜炎 (黄色ブドウ球菌、肺炎球菌など)

目やにが増えて、充血や異物感があらわれます。目やにが粘っこいか水っぽいかによって原因菌が異なります。

流行性角結膜炎 (アデノウイルス)

「プール熱」または「はやり目」の原因ウイルスで、学校やプールなどで感染することが多いです。激しい充血と、大量の目やにや涙が出るほか、強い異物感もあらわれます。また、耳の前のリンパ節が腫れることもあります。

急性出血性結膜炎 (エンテロウイルス、コクサッキーウイルス)

白目にぼつぼつと点状の血がついているように見えます。症状は流行性角結膜炎と似ていますが、やや軽めです。

